



マケマケ

準惑星「マケマケ」

昨年7月、国際天文学連合(IAU)は太陽系外縁天体の中で2005 FY9の仮符号が与えられていた天体について、「マケマケ」という名称を承認し、また4番目の準惑星として分類することとしました。

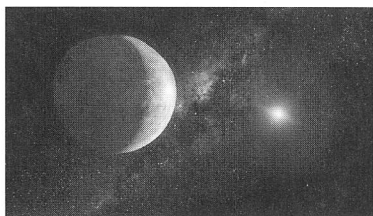


図1. 「マケマケ」の想像図

© IAU, M. Kornmesser (ESA/Hubble)

2006年8月、国際天文学連合の総会で惑星の定義が決定され、冥王星は新たに定義された「準惑星」に分類されることになったことについては、まだ記憶に新しい方も多いと思います。ここで決定された惑星の定義とは(a)太陽の周りを回り、(b)十分大きな質量を持つので、重力平衡形状(ほとんど球状の形)をしており、(c)その軌道近くから他の天体を排除した天体、ということでした。また球形で太陽の周りを回っているが、その軌道付近の天体を掃き散らしていない天体については、準惑星と呼ぶことになりました。冥王星は準惑星の代表的な天体ということになり、その他ケレス(セレス)、エリスも準惑星として分類されました。なお、海王星よりも外側に存在する天体のことを太陽系外縁天体といい、太陽系外縁天体でなおかつ準惑星のものを冥王星型天体(plutoid)と呼ぶことになりました。

マケマケは2005年3月31日、カリフォルニア工科大学のマイケル・ブラウン博士によって発見された天体です。直径は冥王星よりもやや小さい程度で、太陽系外縁天体の中では大きな部類に入ります。今回、このマケマケが新たに準惑星に分類されることになりました。さらにその後、ハウメアという天体も準惑星の仲間入りをしています。準惑星に分類される可能性のある天体は他にも多く見つかっていますので、今後もさらに増えていくものと思われます。

イースター島

ところでマケマケという名前は、他の惑星・準惑星と比べるとかなり変わった名前という印象を受けます。惑星・準惑星の名前はギリシア・ローマ神話の神の名前から由来しているものが多いのですが、マケマケとはポリネシア起源の言葉であり、南太平洋のイースター島(ラパ・ヌイ島)の神話における人間の創造と豊穡の神の名前です。

イースター島といえば、南太平洋の絶海の孤島であり、人の形をした巨像モアイを誰でもすぐに思い浮かべることだと思えます。オランダ海軍提督、ヤコ



ブ・ロッセフェーンが1722年の復活祭(イースター)の日にこの島を発見したことから一般にイースター島と呼ばれていますが、現地ではラパ・ヌイ(大きな島)と呼ばれています。

モアイの制作は10世紀頃から始まったとされています。その建設のための乱開発や部族間の紛争によって、16~17世紀頃には島の環境・文化・社会に大きな危機が訪れ、モアイ信仰は衰退しました。代わって生まれてきたのが、鳥人信仰です。

マケマケはこの鳥人信仰における最高神です。その化身はタンガタ・マヌ(鳥人)と呼ばれる鳥の頭を持った人間の姿をしています。島の南部オロンゴには、鳥人の姿を描いた岩が数多く見られます。

オロンゴでは年に1度、マケマケの化身であるタンガタ・マヌを選ぶための鳥人儀式が行われていました。これはオロンゴの300mの断崖

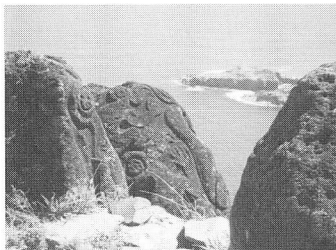


写真1. 岩に描かれた「鳥人」

絶壁を下り、2km先の沖合の島まで泳ぎ、マヌタラ(軍艦鳥)と呼ばれる渡り鳥の卵を持って帰るというレースです。最初に卵を持って帰ってきたものが、その年のタンガタ・マヌとして島の政治、宗教の実権を握ることとなったのです。

太陽系外縁天体2005 FY9は2005年のイースターの日の数日前に発見されました。これにちなんで発見者のブラウン博士は、イースター島の神様の名前マケマケを準惑星の名前として国際天文学連合に申請したということです。

皆既日食

今年2009年7月22日に、日本の南西諸島で皆既日食が起こることはご存知の方も多いと思いますが、来年2010年7月11日には、イースター島で皆既日食を見ることができます。南太平洋の小さな島を皆既日食帯が通ることはそうそう起こることではなく、前回イースター島で皆既日食が見られたのは、西暦656年9月23日のことでした。

この皆既日食が見られるのは南太平洋方面ですが、イースター島以外で観測可能な島はクック諸島のマンガイア島ぐらいしかありません。残念ながら有名なリゾート地タヒチはわずかに外れています。イースター島で皆既日食が見られる時間は、島の東部ほど長くなり約4分40秒です。この機会にぜひイースター島に行ってみよう、と考える方もおられると思いますが、面積は小豆島ほどの小さな島で、宿泊施設にも限りがあります。既に欧米の旅行会社により予約が満杯の状況ということで、イースター島で皆既日食を見ることは、今年日本の南西諸島で見る以上に困難だろうと思われるます。

江越航(科学館学芸員)